

## SR-S748TC1 V13.03 変更内容一覧

### □機能追加

No.	項目	内容
1	無線LAN管理機能改善	1)管理無線LANアクセスポイント(SR-M20AP1)のV2ソフトウェア機能に対応しました。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・show nodemanager logging wlanコマンドのIEEE802.11n規格表示対応</li> <li>・無線LANチャンネル自動設定のIEEE802.11n規格対応</li> </ul> 2)システムログメッセージ追加 以下のイベントについて監視ログだけでなくシステムログメッセージの出力を追加しました。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・管理機器の消失検知</li> <li>・不明無線LANアクセスポイントの初回検知</li> <li>・不明無線LANアクセスポイントの消失検知</li> </ul>
2	縮退機能追加	ハードウェア異常検出時に装置をシステムダウンさせ縮退モードに遷移させるかどうかを、以下のハード異常ごとに選択可能としました。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・冷却ファン異常</li> <li>・温度異常</li> <li>・その他のハード異常(電源異常を除く)</li> </ul>
3	ARP認証機能改善	認証失敗端末に対する通信妨害動作を強化しました。 1)認証失敗保持時間満了直前に再認証を実施することで認証失敗状態を延長することを可能にしました。 2)認証失敗端末に対する通信妨害間隔の設定を1秒から設定可能としました。
4	RADIUS機能改善	IEEE802.1X認証時のAccessRequestパケットにNAS-IP-Addressアトリビュートを追加しました。

### □修正内容

No.	影響範囲	内容
1	V13.00～V13.02	IEEE802.1X認証、Web認証またはMACアドレス認証のいずれかの機能で認証済状態で、装置内etherポートのVLAN構成が変更される構成定義変更が実施されると構成変更となったVLANへ収容された認証済端末を含むポートの認証状態が一旦解除される。解除された状態はIEEE802.1X認証およびMACアドレス認証では自動的に再認証されるが、Web認証では再度ログインが必要となる。
2	V13.00～V13.02	IGMPスヌープ機能を有効にして運用中に、装置へのマルチキャストエントリ情報登録処理が失敗した場合、その260秒後にシステムダウンする。この登録失敗事象は発生するとシステムログに次のメッセージが記録される。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・mstpd: cannot register the multicast group entry [ &lt;group_addr&gt; &lt;vlan id&gt; ]</li> </ul>
3	V13.00～V13.02	破棄されるべき装置に未設定のVLAN IDを持つタグ付きフレームが破棄されずに転送されることがある。
4	V13.00～V13.02	IPルーティング機能を有効にした運用において、IPフォワーディングパケットが隣接装置へ重複して転送される場合がある。
5	V13.00～V13.02	show nodemanager logging wlan staコマンドにてMACアドレス長を越える文字列を指定するとシステムダウンが発生する場合がある。
6	V13.00～V13.02	無線LAN管理機能にて稼働監視中に、監視装置(本装置)から被監視機器へpingコマンドを実行した場合に“command already running, please wait.”と表示されエラーとなる場合がある。
7	V13.00～V13.02	リンクアグリゲーションを構成するリンクに関するLinkUp/LinkDownトランプに含まれるfOperStatusの値が正しくない。